

2026年4月1日発行

Health Passport



学籍番号	
------	--

University of Kochi

目 次

1. ヘルスパスポートの活用	1
2. プロフィール	2
3. 健康管理センターについて	4
4. 定期健康診断	5
1) 目的	5
2) 健診結果の見方（検査目的と基準値）	5
3) 健康診断結果記録	7
5. 感染症対策	12
1) 感染対策を必要とする感染症	12
2) 学部別抗体検査	16
3) 抗体検査結果と予防接種	17
4) 抗体検査結果及び予防接種歴記録	18
＜麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎＞	18
＜B型肝炎＞	22
＜その他の予防接種＞	24
6. 医療機関に関する情報	25
1) 事前に病院を探して、場所等を確認しよう	25
2) 休日夜間等の急病時の診療	25
3) 受診歴を記録しよう	27
7. 休日・夜間に入院等を要する急病時の緊急連絡網	28
8. 感染症発症時（疑い含む）	
平日の昼間時間帯の急病時の連絡網	29
9. 健康管理センターの連絡先・所在地	30

1. ヘルスパスポートの活用

ヘルスパスポートを活用しよう！！

高知県立大学では、学生の健康的なキャンパスライフづくりを支援するために、「ヘルスパスポート」作成しています。

自分の健康を自分で管理するためには、自分自身の心身の状態を知ることが大切です。ヘルスパスポートを活用して、健康管理に努めましょう。

- ① プロフィールのページに、健康に関することを記入しましょう。
- ② 大学等で実施する健康診断結果を記入しましょう。また、「健診結果」等は貼付スペースに貼りましょう。
- ③ 母子健康手帳等を参考にして、大学入学までの予防接種歴及び罹患歴を記入しましょう。母子健康手帳のコピー等はフリースペースに貼りましょう。
- ④ 大学等で実施する感染症抗体検査結果及び予防接種歴を記入しましょう。また、「抗体検査結果・予防接種記録」等は貼付スペースに貼りましょう。
- ⑤ フリースペースは病院受診の記録等にも活用してください。

2. プロフィール

学籍 番号	学部	学科	年度入学
フリガナ 氏名	H・S 年 月 日 生		血液型
現住所 〒			
家族住所 〒 (現住所と同じ場合は、同上と記入)			
家族等の緊急連絡先 (優先順に記入)			
	氏名	続柄	電話番号 (いずれかを○で囲む) (自宅・携帯・勤務先)
①			
②			
③			

かかりつけの医療機関		
医療機関名	主な診療科	電話番号

既往歴 (今までにかかった主な病気・手術とその年齢を記入)

アレルギーの有無 有 ・ 無
<有の場合は、その種類を記入>

常用薬の有無 有 ・ 無

<有の場合は、医薬品名を記入>

現在治療中の病気（病名・治療開始の年月・治療内容）

身体の支障等により、ケア・サポートが必要な内容

在学中の加入保険について

1. 全員加入の保険名

- ① 学生教育研究災害障害保険（学研災）
- ② 学生教育研究賠償責任保険（学研賠）

2. 任意加入の保険名 *加入している保険名を記入してください

3. 健康管理センターについて

◎高知県立大学健康管理センターは、池キャンパス及び永国寺キャンパスに設置されています。センターでは、①健康診断 ②健康相談 ③健康教育 ④健康危機管理等の事業を行っています。センター長はじめスタッフ一同、学生が利用しやすいセンターになるように取り組んでいます。

◎健康管理センターでできること

① 健康チェック

セルフケアコーナーには身長・体重計、体脂肪計、自動血圧計があります。自己管理にお役立てください。

② 応急処置

怪我や体調不良に対する手当等の応急処置ができます。

内服・外用薬は置いておりません。必要であれば、病院の紹介を行います。

③ 健康相談（医師・カウンセラー・保健師等による相談）

精神科医師によるメンタルヘルス相談、カウンセラーによるカウンセリングを行っています。また、センター職員の保健師等が相談を聞くこともできます。詳しい日程等は学内掲示板をご覧ください。希望される方は、健康管理センターにご連絡ください。

④ 健康診断証明書の発行

「健康診断証明書」は証明書発行機で発行できます。なお、実習や留学など（大学が認めたものに限る）の理由により健康診断証明書を発行する場合には、発行手数料はかからないため、その際は健康管理センターまでお越しください。

⑤ ベッドでの休養

静養室には体調管理のためのベッドがあります。お気軽にご利用ください。

4. 定期健康診断

1) 目的

全学生を対象に毎年4月に健康診断を実施しています。身体の異常を早期に発見して、適切な検査・治療や管理を行うだけでなく、自分自身の健康状態を把握して日常生活を見直すきっかけとするために、年1回の健康診断を必ず受けましょう。※職場等で健康診断を受ける方は、「健康診断受診免除届」を健康管理センターに提出してください。なお、1回生は健診結果を受領後、すみやかに健診結果の写しを提出してください。

2) 健診結果の見方（検査目的と基準値）

①胸部レントゲン撮影：肺の状態や心臓の大きさ等をみます。

②身体測定・BMI：身長・体重を測定し、BMIを算出することで、肥満ややせの状態をみます。BMI（Body Mass Index）は肥満の判定に用いられる体格指数です。また、適正体重（標準体重）は次の計算式で求められます。

$$\text{○適正体重} = \text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)} \times 22$$

$$\text{○BMI} = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)} \div \text{身長 (m)}$$

<判定基準>

BMI	判定
18.5未満	低体重
18.5～25.0未満	標準
25.0～30.0未満	肥満1度
30.0～35.0未満	肥満2度
35.0～40.0未満	肥満3度
40.0以上	肥満4度

③尿検査：糖尿病や腎臓病を見つける指標となります。

○基準値：蛋白（－）糖（－） *運動やストレス等生理的な要因でも陽性になることがあります。

④血液検査：主に貧血のスクリーニングを行います。

○ヘモグロビン：赤血球に含まれる赤い色素で、全身に酸素を運搬する役割をしています。

○ヘマトクリット：血液中に含まれている赤血球の割合をいいます。

○赤血球数：赤血球の量を測ります。

○白血球数：細菌などから身体を守る働きがある白血球の量を測ります。細菌やウイルス感染、炎症等で増減します。

○MCV：赤血球の1個の体積を表します。 $MCV = \text{ヘマトクリット} \div \text{赤血球数} \times 1000$

○MCHC：赤血球の色の濃さを表します。 $MCHC = \text{ヘモグロビン} \div \text{ヘマトクリット} \times 100$

	基準値	
	女性	男性
ヘモグロビン (g/dl)	12.1～14.9	13.1～16.9
ヘマトクリット (%)	34.0～45.9	38.0～51.9
赤血球数 (万/ μl)	380～519	420～559
白血球数 (/ μl)	4,000～9,000	
MCV	80.0以上	
MCHC	30.0以上	

* 公益財団法人高知県総合保健協会の基準値を掲載しています。基準値は検査施設によって異なります。

鉄欠乏性貧血に注意

赤血球は酸素を運ぶ大切な役割を持つ細胞で、細胞内にヘモグロビンという鉄を持ったタンパク質が存在しています。女性 10.0 未満・男性 11.0 未満の場合は鉄欠乏性貧血が強く疑われます。必ず医療機関を受診しましょう。

3) 健康診断結果記録

項目 \ 年度		年度 回生			年度 回生			年度 回生			年度 回生		
実施 年月日		年 月 日			年 月 日			年 月 日			年 月 日		
胸部レントゲン	フィルム 番号												
	異常の 有無	有 無			有 無			有 無			有 無		
身長		cm			cm			cm			cm		
体重		kg			kg			kg			kg		
BMI													
尿検査	月/日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	蛋白												
	糖												
血液検査	ヘモグロビン												
	ヘマトクリット												
	赤血球数												
	白血球数												
	MCV												
	MCHC												
医師の 診察所見													
学校医の判断													
備考 (再検査等の記入)													

健康診断結果の貼付

健康診断結果の貼付

健康診断結果の貼付

健康診断結果の貼付

5. 感染症対策

- ・ 感染症対策には、予防接種、大学への連絡、出席停止、実習を行う学部・学生の抗体検査や抗体検査結果による予防接種の実施などあります。
- ・ 麻疹（はしか）、風疹、水痘（水ぼうそう）、流行性耳下腺炎疹（おたふくかぜ）の予防接種歴・罹患歴がない場合は、免疫獲得のため予防接種が推奨されます。

1) 感染対策を必要とする感染症

① 麻疹

- 初発症状：38℃前後の発熱、倦怠感、上気道症状（咳、鼻みず、くしゃみ等）、結膜炎症状（結膜充血、目やに、光をまぶしく感じる等）
- 経過：発熱が一旦さがりかけ再び高熱がでた時に、耳の後ろ、頸部、額から赤い発疹が出始め、身体全体に広がり、発疹が全身に広がるまで発熱が3～4日続きます。発疹は、隆起、融合した後に退色します。通常7～10日で回復しますが、重症な経過をとることもあります。
- 病原体：麻疹ウイルス
- 潜伏期間：10～12日
- 感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染
- 感染期間：発熱前日から解熱後3日を経過するまで（咳、鼻みず、くしゃみ、結膜炎症状のある時期が最も感染力が強い）
- 出席停止期間：解熱した後3日を経過するまで
- その他：感染力が非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症します。10代、20代の感染が社会的に関心を集めています。

② 風疹

- 初発症状：発熱*、発疹（淡紅色）、耳の後ろや頸部のリンパ節腫脹（発疹が出現する数日前より腫れはじめる）。*発熱がない、軽度で気付かないこともあります。
- 経過：発疹は数日をかけて全身に広がり、3～5日で色素沈着なく消えて治り

ます。リンパ節の腫れは3～6週間位持続します。

○病原体：風疹ウイルス

○潜伏期間：14～21日

○感染経路：飛沫感染、接触感染

○感染期間：発疹出現7日前から出現後7日目頃まで

○出席停止期間：発疹が消失するまで

○その他：妊婦の感染によって赤ちゃんに先天性水痘症候群という先天異常や致死的な重症水痘が生じることがあります。風疹の免疫がない男性が感染源になることが多いといわれています。

③ 水痘（水ぼうそう）

○初発症状：発熱と発疹（紅斑、最初に頭皮、次いで体幹、四肢に出現）

○経過：数日にわたり新しい発疹が次々と出現し、38度前後の発熱が2～3日続きます。発疹は紅斑、水疱、膿疱、痂皮（かさぶた）の順に変化し、かゆみや疼痛を伴うことがあります。水疱には多量のウイルスが存在しますが、痂皮中のウイルスには感染性はないです。

○病原体：水痘帯状疱疹ウイルス

○潜伏期間：10～21日

○感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染

○感染期間：発疹出現1～2日前からすべての発疹が痂皮になるまで

○出席停止期間：すべての発疹が痂皮化するまで

○その他：妊婦の感染によって赤ちゃんに先天性水痘症候群という先天異常や致死的な重症水痘が生じることがあります。

④ 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）

○初発症状：唾液腺や耳下腺（顎下腺、舌下腺におこることもある）の腫脹・圧痛、嚥下痛、発熱

- 経過：腫れは2～3日でピークに達し、長くても10日間で消える。
- 病原体：ムンプスウイルス
- 潜伏期間：2～3週間（平均18日前後）
- 感染経路：飛沫感染、接触感染
- 感染期間：耳下腺などが腫れる1～2日前から腫脹5日後まで
- 出席停止期間：耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで

⑤ B型肝炎

- 初発症状（急性B型肝炎）：倦怠感、発熱、黄疸など
- 病原体：B型肝炎ウイルス(HBV)
- 潜伏期間：45～160日（平均90日）
- 感染経路：感染者の血液や体液との経皮的または粘膜による接触など
- 出席停止期間：急性肝炎の急性期でない限り登校可能
- その他：医療機関では、患者や患者の血液・体液に接する可能性のある場合は、B型肝炎に対して感受性のあるすべての医療関係者に対してB型肝炎ワクチン接種を実施しなければなりません。

⑥ インフルエンザ

- 初発症状：38℃以上の高熱と全身症状（倦怠感、頭痛、筋肉痛など）。高熱と全身症状の後、咳、鼻汁を発症する場合がある。消化器症状（嘔吐、下痢、腹痛など）が出現する場合もある。
- 経過：発熱は3～5日ほど続き、約1週間の経過で軽快する。
- 病原体：インフルエンザウイルス（A型、B型など）
- 潜伏期間：1～4日（平均2日）
- 感染経路：飛沫感染、接触感染
- 感染期間：発熱1日前から3日目をピークとし7日目頃まで

○出席停止期間：発症した後（発熱の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで

○その他：抗インフルエンザウイルス薬を発症から48時間以内に開始すると、発熱期間は1～2日間短縮され、鼻やのどからのウイルス排出量も減少します。

⑦ 新型コロナウイルス感染症

○初発症状：主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状であり、頭痛、下痢、味覚異常、嗅覚異常等の症状がみられることもある一方で、無症状のまま経過することもある。

○病原体：新型コロナウイルス（SARS-Cov-2）

○潜伏期間：2～7日（中央値は2～3日）

○感染経路：飛沫感染、接触感染

○感染期間：発症前から感染力をもつ。発症後3日間はウイルスの平均的な排出量が非常に多く、発症後5日頃まで。

○出席停止期間：発症した後（発熱の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ、症状が軽快した（解熱薬を使用せずに解熱し、かつ、呼吸器症状が改善傾向にある）後1日を経過するまで

※5類感染症について

・①～⑦は5類感染症です。5類感染症とは、国が発生動向調査を行ない、必要な情報を国民や医療関係者に提供、公開していくことで発生・拡大を防止すべきものとしてみなされる感染症のことです。

・その他の5類感染症には、感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性結膜炎、梅毒、HIVなどがあります。

参考：(公財)日本学校保健会「学校において予防すべき感染症の解説」
NIID 国立感染症研究所HP <https://www.niid.go.jp/>

2) 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体検査

感染対策の基本は予防接種です。過去には麻疹の流行により、多くの大学が休校となった事例もありました。大学生同士の感染だけでなく、実習先などで感染を引き起こす可能性も懸念されます。

そのため、自身の免疫状態を把握し、予防接種の必要性を確認することが重要です。本学では、1回生の4月に実施する定期健康診断において、全学部を対象に麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体検査を行います。

※予防接種には、**生ワクチン**（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎等）と**不活化ワクチン**（B型肝炎、インフルエンザ、子宮頸がんワクチン等）があります。

●予防接種の間隔について

①異なる種類の生ワクチン（例えば、麻疹ワクチンと水痘ワクチン）の接種間隔は、**27日以上**おこななければなりません。

例) 3月1日に麻疹ワクチン接種をしたら、3月28日から水痘ワクチンが接種できる。

②生ワクチンと不活化ワクチンの接種間隔には制限がありません。

③異なる種類の不活化ワクチン（例えば、B型肝炎ワクチンとインフルエンザワクチン）の接種間隔には制限がありません。

3) 抗体検査結果と予防接種

※医療機関等での実習では、抗体検査結果と予防接種記録によって予防接種が必要となります。

参考：一般社団法人日本環境学会「医療関係者のためのワクチンガイドライン第4版」

① 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の予防接種について

○必要なし（以下のいずれか）

- ・基準を満たす抗体価陽性（+）
- ・予防接種記録（母子健康手帳や証明書等）が2回ある。

○1回必要（以下のいずれか）

- ・基準を満たさない抗体価陽性（±）で、予防接種記録が1回しかない、または、接種記録がない。
- ・抗体価陰性（-）で、予防接種記録が1回しかない。

○2回必要

- ・抗体価陰性（-）で、予防接種記録がない。

② B型肝炎の予防接種について

○必要なし HBs 抗体陽性（+）

○必要 HBs 抗体陰性（-）

*B型肝炎ワクチンは、初回、1カ月後、6カ月後の間隔で3回接種が必要です（1シリーズ）。

*B型肝炎ワクチン接種 翌年度の定期健康診断でHBs抗体を検査します。HBs抗体陰性の場合は、2シリーズ目の接種が必要です。

〈感染症抗体等検査結果の見方〉

疾患名	検査法	抗体価陰性（-）	基準を満たさない抗体価陽性（±）	基準を満たす抗体価陽性（+）
麻疹	EIA法	2.0未満	2.0以上16.0未満	16.0以上
風疹	EIA法	2.0未満	2.0以上8.0未満	8.0以上
水痘	EIA法	2.0未満	2.0以上4.0未満	4.0以上
流行性耳下腺炎	EIA法	2.0未満	2.0以上4.0未満	4.0以上

疾患名	検査項目	検査法	陰性（-）	陽性（+）
B型肝炎	HBs抗原	CLIA法	0.05未満	0.05以上
	HBs抗体	CLIA法	10.0未満	10.0以上

4) 抗体検査結果及び予防接種歴記録

<麻疹（はしか）・風疹・水痘（水ぼうそう）・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）>

※母子手帳等の予防接種記録・罹患歴、抗体検査結果について記入してください。

- ・母子手帳等に MR ワクチンという記載がある→麻疹風疹混合ワクチンのことです。
- ・予防接種の記録が2回ない場合→「備考」に記入 【記入例】水痘（接種記録1回のみ）、風疹（接種記録なし）
- ・大学で行う抗体検査の検査法は EIA 法です。

項目		麻疹	風疹	備考
予防接種歴	接種日	① 年 月 日	① 年 月 日	
		製品名等	製品名等	
		② 年 月 日	② 年 月 日	
		製品名等	製品名等	
罹患歴	記録	有（ 年）・ 無	有（ 年）・ 無	
抗体検査	検査日	年 月 日	年 月 日	
	検査法			
	検査結果			
	判定	- ± +	- ± +	

項目		水痘	流行性耳下腺炎	備考
予防接種歴	接種日	① 年 月 日	① 年 月 日	
		製品名等	製品名等	
		② 年 月 日	② 年 月 日	
		製品名等	製品名等	
罹患歴	記録	有（ 年）・ 無	有（ 年）・ 無	
抗体検査	検査日	年 月 日	年 月 日	
	検査法			
	検査結果			
	判定	- ± +	- ± +	

抗体検査結果・予防接種記録の貼付

抗体検査結果・予防接種記録の貼付

抗体検査結果・予防接種記録の貼付

<B型肝炎>

※抗体等検査結果とB型肝炎ワクチン接種について記入してください。

- ・予防接種後に副反応があれば「備考」に記入 【記入例】接種①（接種部位の発赤と腫れ3日間）
- ・大学で行う抗原検査、抗体検査の検査法はCLIA法です。

項目		B型肝炎		備考
抗原検査	検査日	年 月 日		
	検査法			
	検査結果			
抗体検査	検査日	① 年 月 日	③ 年 月 日	
	検査法			
	検査結果			
	判定	+ -	+ -	
	検査日	② 年 月 日	/	
	検査法			
	検査結果			
	判定	+ -		
予防接種	接種日	① 年 月 日	2-① 年 月 日	
		医療機関名	医療機関名	
		製品名等	製品名等	
		② 年 月 日	2-② 年 月 日	
		医療機関名	医療機関名	
		製品名等	製品名等	
		③ 年 月 日	2-③ 年 月 日	
		医療機関名	医療機関名	
		製品名等	製品名等	

B型肝炎 抗原抗体検査結果・予防接種記録の貼付

<その他の予防接種>

※予防接種の種類、接種等を記入してください。

- ・予防接種の種類 【記入例】 インフルエンザ、HPV（子宮頸がん）、COVID-19
- ・「備考」 予防接種を受けた医療機関名、接種後の副反応等を記入

予防接種の種類	接種日・製品名等	備考
	年 月 日 製品名等	

6. 医療機関に関する情報

1) 事前に病院を探して、場所等を確認しよう

体調が悪くなってから病院を探すのは大変です。体調不良時に受診できる近場の医療機関を事前に確認しておくことをお勧めします。

○こうち医療ネット <https://www.kochi-iryo.net/>を活用して医療機関を探しましょう。

○健康管理センターでは、居住地近辺や学生がよく利用する医療機関を紹介しています。お気軽にご相談ください。

2) 休日・夜間等の急病時の診療

休日・夜間等の急病で受診できる医療機関は、「高知市休日夜間急患センター」及び「高知県歯科医師会歯科保健センター」です。また、「高知県救急医療情報センター」に電話で問い合わせれば、受診できる医療機関を探してくれます。

<高知市休日夜間急患センター TEL 088-875-5719>

●急患センターは、休日・夜間の急患に対する診療（初期医療）を行うための応急診療所です。

診療の結果、入院の必要がある場合は、救急病院等に紹介します。

診療日：日曜・祝日及び年末年始（12月31日～1月3日）

診療科目及び時間：午前9時～12時 概ね内科、

日曜の午前中のみ耳鼻咽喉科・眼科

午後1時～5時 概ね小児科、夜間は小児科

場所：総合あんしんセンター1F（高知市丸ノ内1丁目7番45号）

<高知県歯科医師会歯科保健センター TEL 088-824-7862>

一般の歯科診療所が休診の時に、救急の患者さんを対象に応急処置を行っています。

診療日：日曜・祝日及び年末年始

診療時間：午前9時～午後3時

※年末年始：午前9時～（正午受付終了）

場所：総合あんしんセンター1F（高知市丸ノ内1丁目7番45号）

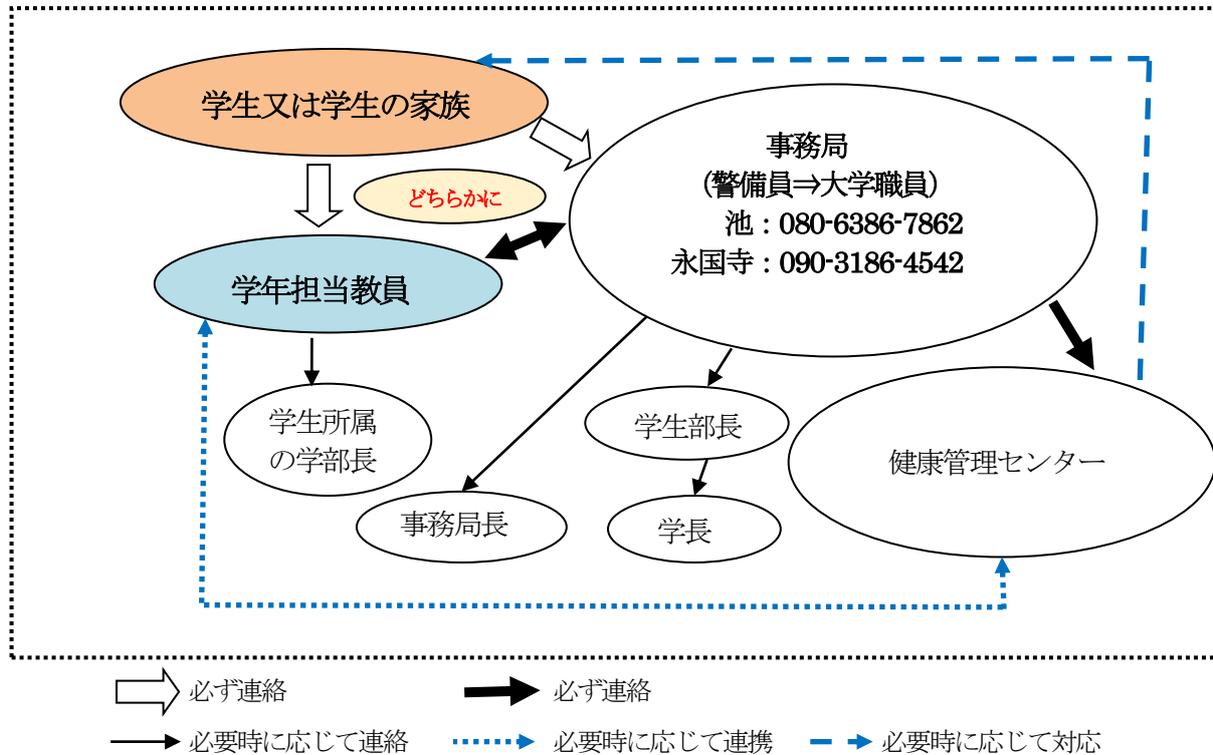
<高知県救急医療情報センター TEL 088-825-1299>

県内の救急対応できる医療機関を年中無休24時間体制でオペレーターが案内してくれます。

- ① 上記の番号に電話すると、オペレーターから「住所・症状・氏名・年齢・性別」の問いかけがあります。正確に教えてください。
- ② オペレーターは情報をもとに住所の近くで症状にあった、現在診療できる医療機関を情報システムで検索して複数の医療機関を伝えてくれます（一つしかない場合もあります）。
- ③ 複数の医療機関がある場合は、本人が受診する医療機関を決定して、オペレーターに伝えます。
- ④ オペレーターが指定の医療機関に連絡をして、受診可能となります。
- ⑤ 保険証を持参して、受診してください。

7. 休日・夜間に入院等を要する急病時の緊急連絡網

- ① 休日・夜間に入院等を要する急病の場合は、学年担当教員または大学事務局（警備員対応）のどちらかに連絡してください。事務局の電話は警備員につながります。警備員から大学職員に連絡があります。
- ③ 健康管理センターは、大学職員から連絡を受け、必要に応じ学年担当教員等と連携して対応します。



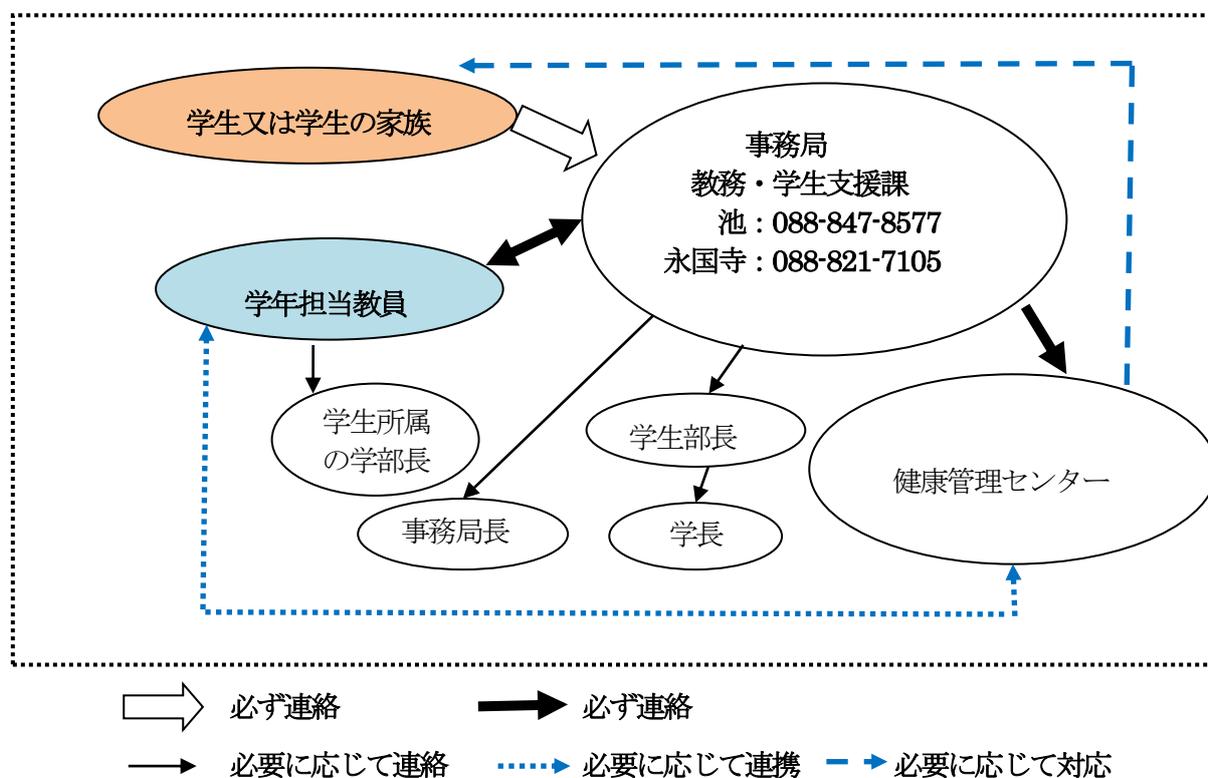
<急な病気やケガで救急車を呼ぶか、病院に行くか迷った場合>

24時間、看護師や医師による救急医療電話相談「#7119」（無料通話）が利用できます。相談内容により119番や高知県救急医療情報センター等へ電話を転送してくれます。

※p25～26 医療機関に関する情報あり

8. 感染症発症時（疑い含む）・平日の昼間時間帯の急病時の連絡網

- ①医療機関を受診し、感染症（麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等）の診断を受けた場合は、各キャンパスの教務・学生支援課に連絡してください。
 ※実習等に影響がある場合は、実習担当教員または科目責任者に連絡してください。
- ②健康管理センターは、必要に応じ学年担当教員等と連携して対応します。



◎感染症を疑わせる症状がある場合

- ・他の人との接触を極力避け、登校を控えて上記の【感染症発症時（疑い含む）の連絡網】に連絡、受診を検討してください。
- ・受診を迷う場合等は、健康管理センターにご連絡ください。
- ・受診の際は、事前に電話で症状を伝え、受診の仕方を確認してください。

◎感染症の診断を受けた場合

- ・医師に感染期間、感染経路、自宅待機期間等を確認し、適切な感染対策をとってください。
- ・上記【感染症発症時（疑い含む）の連絡網】に連絡をしてください。

*感染症による出席停止と特別欠席手続きの詳細は「学生便覧」参照

9. 健康管理センターの連絡先・所在地

◎池キャンパス（共用棟2階）

開室時間 8時30分～17時15分 土・日・祝祭日を除く

直通電話 088-847-8743

携帯電話 080-2975-3014

E-mail kenkou@cc.u-kochi.ac.jp

住所 〒781-8515 高知市池2751番地1

◎永国寺キャンパス（教育研究棟3階）

開室時間 8時30分～18時 土・日・祝祭日を除く

（スタッフ常駐時間 9時15分～18時00分 ※）

※スタッフ不在時間（8時30分～9時15分）は高知工科大学の
スタッフが対応してくれます。

直通電話 088-821-7116

携帯電話 080-2971-5030

E-mail hoken@cc.u-kochi.ac.jp

住所 〒780-8515 高知市永国寺町2番22号